

あの時起きたこと。

相崎市立高柳中学校 一年 中村 友美

グチッ。ガラガラ。

「わー。地震だー。しかも停電したー。」

十月二十三日五時五十六分の出来事だった。私はこの時テレビを見ていくつろいでいた。その時だった。地震が来たのは。あまりにも突然だった。私が驚いた。何をどうすればいいのか分からなかった。私はただたんに座っていることしかできなかった。

地震が治まった。私はほっとした。家の中は何も変わり。これはなかった。ただ停電していたので、ろうそくで見えるかぎりだったか。

それから、父が

「また地震がくる前にごはんを食べてしまおう。」

と言った。それご、母と祖母が食事の支度を始めた。幸い、ガスも水道も止まった。いなかだった。それに、家にはまきストーブがあったので寒くはなかった。むしろ暖かった。

食事の支度が終わり、みんなが食べることにした。お皿を運んでいる時、最初の地震のせいですぐ倒れていたテレビが私のすぐ横に落ちてきた。幸い当らなかつたのでけがをせずにはすんだ。そしてみんなが食べ初めた。食べ終わる頃二回目の地震が来た。母が急いでろうそくの火を消した。その地震は一回目よりもすぐ治まった。治まった後、すぐに私たちは居間に移動した。それからは地震はしばらく起きなかつた。

居間はストーブから少し遠かつた。そこで父と母が布団や毛布を二階から取つて来た。私は毛布を二枚取つてくるまつた。そこに父がストーブの上で沸したお湯で作ったお茶を持つてきた。それをみんなが飲んだ。それかというもののみんなが話しかけていた。何分間くらい話していたのかは忘れたが、父が「そろそろ寝てしまおう。」と言つた。そこで父と兄二人はストーブの隣で母と祖母と私は居間で寝ることにした。